

●親子自然観察会事前下調べ 6月3日 10時より 12時

カスミサンショウウオ幼生が3匹、参加者4人

大きくなってきたので囲いを外して約1カ月が過ぎました。全く姿を見ることが難しいとあきらめていました。3日に桜谷先生が下調べに来られるので、金田さんや野村さんに呼び掛けて調査に出かけました。梅雨入りして、今日まで調べることはなかったが、踏破してみると水が溜まっている池は4個存在することも判り、そのいずれも十分生育する環境を備えています。問題は止水のようで止水でなく強く流れるのでもなく、しかし水が入れ替わるように弱く流れている状況が必要とのことでした。4個の池うち、この条件を持続できるのは何処か、まだわかりません。調査観察が必要です。それにしてもこの池の周囲の森から聞こえてくる野鳥の鳴き声は、タカ（オオタカ）らしい声が途切れなく聞こえています。ウグイスも立派に囀ります。野鳥に詳しいお方に調査していただきたいと思います。

●親子自然観察会事前下調べ 6月3日 オオムラサキのさなぎ直前の幼生見つける

8人で、この日2番目の下調べは、オオムラサキの観察に新設した観察棟（台）から直接、若葉にくっ付いているさなぎになる直前の幼虫を観察できるかどうかでした。エノキの葉は、みずみずしく生命に溢れています。一行より一足早く現地に着された金田さんが、「いましました」と、得意げに案内いただきました。教育棟に接近しているエノキの枝にみどりの葉と全く同じ色をした幼虫がじっと静止していました。最初は、なかなか見つけられないもので、目をじっと凝らして、はじめて発見できるもので、初心者ではとても難しいと実感しました。

自然の中で自然の状態で確認できることなど、よほどのことがない限り出会うことは難しいものです。教育棟の実力が見事に発揮されたものです。このようなオオムラサキを直接観察できる観察台は全国でもそうみられるものではない施設のようです。

●親子自然観察会 6月5日 京田辺市中央住民センター 9時～12時 木津川堤を観察 6人

毎年恒例の木津川堤防での生き物調べ自然観察会は、そこそこの天気でよい条件でした。今年のこの日には、堤防の草が全部刈り取られて、なかなか昆虫や蝶の出現は難しいようでしたが、調整をずらして草刈時期を延ばしていただきました。木津川は若葉にあふれた草原の出現という状況でした。ウマノスズクサがものすごく繁茂して近年まれにみる姿が見られました。しかしウマノスズクサを食草とするジャコウアゲハもホソオチョウも全く姿を見ることができませんでした。去年は草が刈られていたので、さもありなんでしたが、今年はしっかり伸びているのに発見できませんでした。1坪の広さの草原を1分間、捕虫網を振りまいたら53匹の生き物が捕獲できました。去年は40匹ほどでした。2時間楽しく堤防で観察ができました。

●親子自然観察会 6月5日 里山農園付近

オオムラサキの観察とササユリの開花を愛でる会 15人来所

13:00 集合で案内して、昨年並みの参加と予想していましたが、なんと枚方や星田など大阪方面からも沢山おいでになりました。15人もの集まりになりました。これまでの愛でる会では、ほとんどササユリは開花しておらず、なかなか見ることはできませんでした。しかし今年は中心になる5つも花をつけたものは、まだまだのようですが、茎の細いものは開花してくれて、望みをかなえてくれました。参加者の皆さんは心ゆくまで堪能されたのではないのでしょうか。同時にオオムラサキの幼虫の観察にも観察棟に登っていただき案内しました。そしてエノキとクヌギとオオムラサキの生態を説明しました。また、レッドデータブックに記載される植物・動物の大切さや保存の必要性についても、里山の会の取り組みの説明を加えて強調しました。

●サツマイモの植付け 3日 200本(1号地 5日 100本(3号地)

少し遅れ加減ですが、芋苗を植え付けました。3日のうっとうしい天気の下で、5日もうっとうしい雨模様の中、合計300本を植え付けました。連日頑張っていただきました皆様、秋が楽しみです。

●淀川発見講座 6月5日 中書島の京都大学防災研究所流域災害研究センターで30名参加

里山の会からは、会員の南良さんと中西カヨさんが受講されました。講座のスタッフとして山田信人さんと田中実知世さんが運営に協力されていました。淀川に関する講座としては、近隣で最もわかりやすい講師をお願いして、最新の淀川水系全般にわたって説明が行われますので、川について学ぶには手頃な講座だと思われます。なかなか、これだけの講師陣を集めて、これだけの内容のある講座はそうあるものではありません。多くの皆さんも、このチャンスに顔を出されるといいと思いますよ、伏見中書島界隈の歴史探訪も楽しい軽ハイキングですよ。

●里山農園でのササユリ・交雑防止問題 一応交雑防止策を実行。

●11日 京田辺市のカエルの観察会を開催 10:00~12:00 普賢寺幼稚園前集合

淀川若手グループレンジャーの福山さんが主催実行される、カエルの観察会に多くに皆さんのご参加をお待ちしています。両生類は100年で絶滅してしまうのではないかと近頃よく聞くお話です。どこにでもいたトノサマガエルがもう見つけることがかなり難しいという状況になっているのです。ご存知の通りメダカも、そこここにいたのに、もう見つけることがかなり難しくなっているのです。ご参集ください。そしてお帰りに里山農園でオオムラサキを観察されてはいかがでしょう。

●いよいよ里山の会結成20周年記念祝賀会 11日に迫る

13時受付開始、13時30分に開会祝賀会、14時30分お茶会、15時30分に里山音楽会、17時に里山デナーが始まります。そして18時30分ビデオ上映(竹蛇籠の取り組み、オオムラサキ、催し腹話術と皿回しをみんな一緒に) 19時30ホテル観賞となります。ぜひ多くの皆さんのご参加をお願いします。

そしてこの取り組みの何よりの掘り出し物は、昭和の中期から平成初期に活躍された「炎の陶芸家」と言われた鬼志野焼きの月形那比古さんが焼かれた超高級お茶碗でのお茶会です。超高級お茶碗でお茶をいただけるチャンスには巡り合えないと思います。ぜひこのチャンスにお越しください。一斉を風靡した月形那比古さんの直弟子が里山の会の青代茂治さんです。青代さんは月形氏と同郷だったので、月形さんと一緒に陶芸の道を歩んでこられました。陶芸の道のさわりをお願いしております。お楽しみにしてください。

●6月18日(土) 10時~12時 オオムラサキ観察会

集合:普賢寺小学校前 指導は前近畿大学教授:桜谷保之氏です

●6月26日(日) 10時~12時 親子で遊ぼう学ぼう魚とり

参加者募集 先着順 50組 世話係優先とします

場所 合格者に返信はがきで連絡 (木津川左岸山城大橋上流 200m) 往復はがきで里山の会に申し込んでください 記入内容 住所 氏名(学年) 保護者名(年齢) 連絡方法(電話番号) メール 保護者のお手伝い優先扱いで受け付けます(準備係 班の世話係 後始末係をご記入ください) 早くも・一組の申し込みが来ています